

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和6年度 第9号
令和7年2月25日発行
＜発行・編集＞
直東学園 事務局
〒942-0041
新潟県上越市安江 282-1
(上越市立直江津東中学校内)
TEL : 025-543-2729
FAX : 025-543-4150
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

生徒指導特集

直東学園では、小中学生のよりよい人間関係づくりや、規律ある学校づくりを実現するために、今年度も引き続き以下の3点について、5校で共通理解を図り、連携しながら具体的な取組を進めています。

(1) リーダーシップ・フォロワーシップの育成

各学校とも学校行事や、児童会（生徒会）活動、清掃活動などを中心に、同学年だけでなく異学年でかかわり合う場面、一人一人が集団の一員としての役割を果たす場面を意図的に設定し、リーダーシップやフォロワーシップの育成に努めました。運動会、あいさつ運動、縦割り班活動、遠足、ボランティア活動などの様々な活動において、主体的にリーダーシップを取る姿、自分の役割をしっかりと行う姿、友達と協力する姿、低学年に優しく寄り添う姿などがたくさん見られました。

(2) 小中5校の一層の連携と切れ目のない生徒指導

生徒指導担当教員が集まる生徒指導推進委員会を開催し、子どもの現状や課題の情報を共有するとともに、各学校における学年・学級経営の改善に生かしました。また、児童生徒を取り巻く環境や実態を話し合い、「直江津東中学校区 生活のきまり」の内容を確認しました。

(3) 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

11月22日（金）に、小学6年生と中学1年生の児童生徒が直江津東中学校に集まり、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を開催しました。当日は、いじめ問題に対する課題を明らかにし、その解決のための「自校のアクションプラン」を各学校が発表しました。また、上越市学校教育課丸山邦晃指導主事をお招きし、「いじめ」とはどのような行為を言うのか、どのような場合に「いじめ」となるのかを分かりやすく、○×クイズも交えながらご講演いただきました。話し合いでは、中学1年生がリーダーシップを発揮し中学校区の6年生と一緒に考える姿がたくさん見られました。来年度、中学校において、良好な人間関係づくりにつながることを期待しています。



北諏訪小学校の取組

北諏訪小学校では「いつでもあいさつ、返事をする子」「互いに認め合い協力し合える集団」「楽しいと思える学校」この3つをめざして取組を重ねてきました。

いつでもあいさつ、返事をする子をめざして

年間通じて、毎朝、児童玄関にはあいさつリーダーが立ち、全校児童を迎えました。また各学年であいさつを盛り上げる活動を考えて、全校に働き掛けました。あいさつや返事を自分からしようとする姿が増えています。



互いに認め合い協力し合える集団をめざして

児童同士の温かい言葉掛けがさらに広がるように、全校 SSE 集会を実施しました。先生方が日常にありそうな場面を演じ、それについてみんなで話合います。その後、児童も実際にやってみることで日常につなげています。



楽しいと思える学校をめざして

縦割り班活動を取り入れ、活動後にはメッセージを交換し、そのメッセージをシートに綴っていく活動を継続しています。児童と一緒に遊ぶことを通して、相手を思いやり、協力したり、折り合いをつけたりする姿が自然と増えていきました。人とかわかることで学べる温かい気持ちをしっかりと育んでいます。



保倉小学校の取組

【縦割り班活動】

保倉小学校では、1年生から6年生までを10グループに分けて、縦割り班を作ります。清掃をはじめとし、春の遠足や児童会主催の行事の際にその縦割り班で活動します。

1学期は、遠足と総務委員会が主催した全校かくれんぼでした。遠足では入学したばかりの1年生に上の学年の子どもたちが温かく声掛けをしたり、一緒にお弁当を食べた後、公園で仲良く遊んだりしました。

2学期は、ピカドンピアノが保倉小学校にやってくることになりました。そのときに、平和への祈りを込めて千羽鶴を送ろうと、縦割り班で、千羽鶴の折り方を教え合いながら作りました。途中で分からなくなっても、高学年が優しく教えてくれるので、低学年でもなんとか鶴ができあがります。最初の簡単な部分だけ折って、その後別の子が続きを折り、仕上げるという共同作業の班もありました。縦割り班で協力して作り上げた千羽鶴は今広島県の展示室に飾っていただいています。



【全校 SSE】

「温かい言葉かけ」と「気持ちのよいあいさつ」について、全校 SSE を行いました。教師による寸劇を見て学んだスキルを、学級ごとに自分たちでもロールプレイし、スキルの定着を図りました。子どもたちの振り返りでは、自分が今できていることや不十分なことを認識し、これからやるべき行動についての前向きな言葉が多く見られました。このような活動を通して互いに気持ちの良い人間関係を築けるコツを学んでいます。

有田小学校の取組

有田小学校では、教育目標を受け「自分もみんなも大切にする」を合言葉に様々な取組を行ってきました。そのうち2つを紹介します。

1 「0限」の充実

朝活動の15分間を「0限」と呼び、「きょうも学校が楽しみだな」と思いながら児童が登校してくるような活動に、各学級で取り組みました。

内容は、ゲームを主とした楽しい活動です。情報交換をしゲームの種類を増やしたり、学級を解体して学年で取り組んだり工夫しました。また、低学年でも0限係として、児童がゲームを進める学級がありました。

「0限」の活動を継続し内容が充実するにつれ、児童同士のトラブルが減ってきました。それは、笑顔のあふれる活動を通して、お互いを認め合うことができ、児童同士がなかよくなることにつながったためと考えています。「0限」の活動には、生徒指導上の問題行動の予防につながる力がありました。

2 月別なかよし目標への取組

自分もみんなも大切にするため、「明るいあいさつを伝え合おう、温かい言葉を伝え合おう、よいところを伝え合おう、ありがとうを伝え合おう」の4つを「月別なかよし目標」とし、繰り返し取り組んできました。

今年度は全校集会で、コロナ禍以降初めて「なかよし班」活動を取り入れました。「がんばったあいさつ」「〇年生の良い所」などをなかよし班で話し合うことで、月の目標への取組の意欲付けができ、児童に内容が浸透しました。



絵しりとり



春日新田小学校の取組

春日新田小学校では、共感性と社会性、人間関係形成力の育成を目指し、縦割り班活動(以下、なかよし班)やSSE(かかわり方の学習)に取り組んでいます。

1 絆を深めるなかよし班活動

なかよし班活動の常時活動として、なかよし班で清掃を行っています。清掃時には、6年生のリーダーを中心にそれぞれが自分にできることを時間一杯がんばっています。

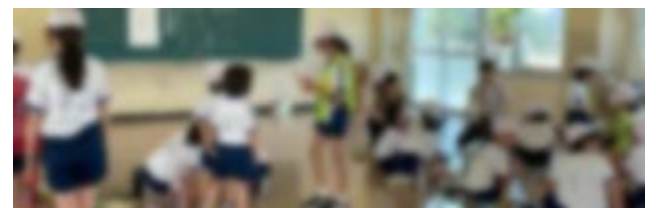
また、春のなかよし班顔合わせからスタートし、なかよしウォークラリーやなかよし班体力テスト、なかよし班読書など、なかよし班毎に絆を深めてきました。秋には音楽会のステージ発表を全校で見合い、なかよし班の友達にメッセージを送りました。互いのがんばりを認め合ったり、友達の素敵ところを伝え合ったりできる温かな人間関係や、リーダーシップ、フォロワーシップが育まれていると感じています。



なかよしウォークラリー



なかよし班読書



なかよし班体力テスト

2 全校でかかわり方を学習(全校SSE)

2学期と3学期に全校SSEを行っています。2学期は、相手の名前に『さん』を付けて呼ぶこと、また、『～です。』、『～ます。』など、ていねいな言葉づかいをすることについて学習しました。

3学期は、『～してくれて、ありがとう。』、『～して、ごめんなさい。』など、相手に自分の気持ちを上手に伝える方法について学習します。

学んだスキルが日々の生活に生かされている時には賞賛し、良い行動を促しています。

直江津東中学校の取組

年間を通して生徒が中心となり、様々な取組をしながら、仲間を大切にする「温かい学校」をつくっています。

【仲間づくり活動】

毎年5月に遠足を実施しています。1年生は妙高自然の家でプロジェクトアドベンチャーに挑戦します。2年生は海浜公園に、3年生は大潟水と森公園に出かけ、級長会が企画したレクリエーションを行います。仲間と助け合いながらミッションをクリアし、新しい仲間との絆を深めていきます。



【9月体育祭・10月音楽祭】

生徒会が中心となり、中学校の2大行事の企画・運営を行います。リーダーが行事を引っ張ることで、東中が掲げる自主・自立の精神を培います。また振り返り活動にも力を入れます。仲間の良さを見つけ、感謝の気持ちを伝え合います。



【いじめ見逃しゼロ強調月間】

11月と12月には「いじめ見逃しゼロ強調月間」の取組として、専門委員会が「いじめのない、笑顔が絶えない学校にしよう」とあいさつ運動やポスター作りを行います。また、1年生は学区の小学生と一緒に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行い、いじめについて深く考えます。

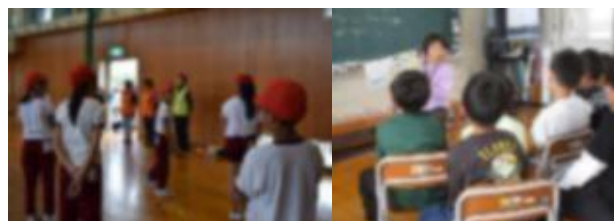
【進級・卒業プロジェクト】

3学期は、各学年で、仲間やお世話になった方へのメッセージ書き、学年レク、3年生を送る会などを「進級・卒業プロジェクト」として実施し、感謝の気持ちを伝えます。さらに、学び育ててくれた校舎をピカピカに磨く「クリーン大作戦」も行います。

ボランティア支援

令和6年度も直東学園および直江津東地域青少年育成会議では様々なボランティア活動に取り組みました。数多くの地域の方々、保護者の方々そして事務局メンバーで少しでも子ども達の応援ができればと活動しました。

例えば、校地外で持久走大会を行う場面では、安全に走れるよう要所に立哨をしていただきました。



（持久走の安全の見守り）（朝の読み聞かせ）

また、年間を通して小学校では朝の読み聞かせ活動を行い、気持ちよく朝のスタートができるようお手伝いしています。

秋には、学校田の稲刈り作業を地域の多くの方々から子ども達と一緒に汗を流していただきました。



（学校田の稲刈り）（ミシンの補助）

家庭科では慣れないミシンで糸をからませてしまったり、うまく縫うことができなかったりする場面では、昔取った杵柄で手際よくアドバイスをしていただきました。



時には、ボランティアをされている方を学校に招いていただきお礼の言葉をいただくこともあり、活動している方の励みになっています。

ボランティア活動は、自分の都合に合わせて、できるときに、できる範囲で、無理せず行うことが長続きのポイントです。